

医療倫理

基礎医療倫理学

《担当者名》磯部太一（心）

【概要】

医療倫理と生命倫理の概要を、講義形式だけではなく、映像資料などを参照しながら、ワークショップ、グループワーク、発表などを実施し能動的に学ぶ。実際の医療現場で問題となっている事例を中心として、医療倫理・生命倫理の誕生の歴史と社会的背景、インフォームド・コンセント、患者・医療者関係、安楽死と治療停止、脳死と臓器移植などの内容を取り扱う。さらに俯瞰的な観点から、社会の中での医療の役割、医療と社会の関係などについても取り扱う。

【学修目標】

- 1) 医療倫理・生命倫理の基本的な概要や問題事例を理解し身につける。
- 2) 医療と社会の関係について、自分の日常生活と関連付けながら学ぶ。
- 3) 臨床検査技師に関する倫理について、基本的な知識や考え方を身につける。
- 4) グループワークと発表などの参加型の学習を通じて、議論するコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を養う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	医療倫理・生命倫理の誕生と展開	医療倫理・生命倫理の概要と社会的・歴史の変遷について理解する。	磯部太一
2	医療倫理・生命倫理の誕生と展開	医療倫理・生命倫理の概要と社会的・歴史の変遷について理解する。	磯部太一
3	医の倫理	医の倫理について理解する。	磯部太一
4	「患者・医療者」関係	患者と医療者関係について理解する。	磯部太一
5	インフォームド・コンセント	インフォームド・コンセントの歴史と意義を理解する。	磯部太一
6	安楽死と治療停止	安楽死の歴史と概要、安楽死の問題点、安楽死を巡る日本の状況、安楽死と治療停止について概説できる。	磯部太一
7	期末レポートについて	期末レポートの書き方の概要を説明できる。	磯部太一
8	医療の役割	社会における医療の役割について考察する。特に、社会における臨床検査技師の役割について議論する。	磯部太一

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

期末レポート(100%)

【教科書】

神里 彩子・武藤 香織 編(2023)『医学・生命科学の研究倫理ハンドブック 第2版』東京大学出版会

【参考書】

玉井真理子・大谷いづみ編(2022)「はじめて出会う生命倫理」有斐閣
戸田山和久(2022)『新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHK出版

【学修の準備】

- ・授業の前後において、教科書の該当箇所を一読する(120分)。
- ・授業内で出した課題について、次回の授業の際までに行っておく(60分)。
- ・授業内で実施するグループワークと発表に積極的に参加する。一部、授業外で宿題として実施する(60分)。

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。

(2026年度・医療技術学部)

(DP3) 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している